

本校では生徒が主体的に「最適解」を導く学習活動として産学官一体型学習プログラム「未来思考型PBL」を実施するとともに、専門教科のみならず普通教科の学習も充実させ、生徒の多様な学びと将来の進路実現につなげています。

学園祭における行事として、本校生徒に農業高校で学ぶ意義をしっかりと認識させ地域の未来創造に貢献できる人材を育成できるよう、「ショウジョウバエを用いたがん研究に関わる講演会」を実施することとしました。

学習活動を進めるに当たって必要となる勉強法や心構え、地域とのコミュニケーションなどの社会性を身に付けるためのスキルをがん研究に紐づけて講演する運びとなっており、今後の生徒の課題解決型学習や人生設計の糧となることを目的に準備しております。

# 庄原実業高校 学園祭における 講演会

日時

11月8日(金)

開場	9:00
開演	9:10
閉演	10:10

場所

〒727-0013 広島県庄原市西本町1丁目24-34  
広島県立庄原実業高等学校  
体育館

対象

生徒、教職員、保護者、一般市民

講習内容

- ・ショウジョウバエを用いたがん研究
- ・研究で必要となる勉強法、学習法
- ・研究への心構え
- ・研究に必要なコミュニケーションスキル
- ・職業選択へのきっかけや経緯、道のり

入場  
無料



## 県立広島大学

生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース  
准教授 理学博士

## 岡田 守弘 氏

はじめまして、岡田守弘と申します。現在、ショウジョウバエを使って、がんを引き起こす全身的な身体の異常である「がん悪液質」と呼ばれる病気の基礎研究をしています。この研究を通して「生き物はどのように死ぬのか」という、単純そうで非常に困難な問題を明らかにすることを目標としています。なぜ虫をがん研究に使うのか？がん悪液質ってなに？そんな疑問を持たれた方に話を聞いていただきたいです。

2012年 ● 広島大学大学院理学研究科修了 博士（理学）  
| アメリカ国立衛生研究所(NIH) 研究員

2016年 ●  
2017年 ●  
| 理化学研究所 研究員

2024年 ● 県立広島大学生物資源科学部生命環境学科 准教授

主催 広島県立庄原実業高等学校

お問い合わせ 広島県立庄原実業高等学校 0824 (72) 2151 産業教育コーディネーター 松本